

発達障害児の将来

～ そのキャリア発達と就労支援 ～

参加費 定員
無料 150名

お申し込みは、
下記お問い合わせまで

※定員に達し次第締め切りとなります。

第1部 講演の部

13:00～14:30

基調講演 青年・成人期に於ける 発達障害の理解と支援

— 小児期～成人期に至るまでの成長過程と就労支援 —

講師 明神下診療所(神経科) / 臨床心理士

糸井 岳史

司会 武蔵野大学教授 / 臨床心理士 藤森 和美

第2部 分科会

15:00～16:30

A 班

テーマ

発達障害児への就労支援

— 社会的自立、就労に向けての課題 —

講師

帝京平成大学教授 / 臨床心理士

三宅 篤子

座長

武蔵野大学教授 / 精神科医・臨床心理士

辻 恵介

B 班

テーマ

発達障害のある方の就労

～ ジョブマッチングの必要性～

講師

テスコ・プレミアムサーチ株式会社 代表取締役

石井 京子

座長

明神下診療所(神経科) / 臨床心理士

糸井 岳史

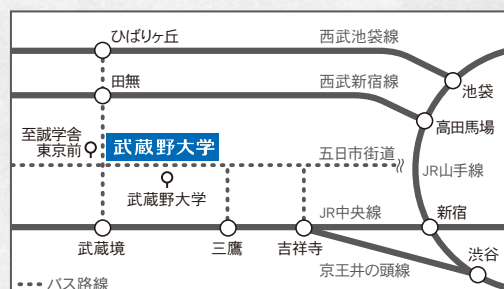
日程: 平成22年7月4日(日)

場所: 武蔵野大学構内

主催: 武蔵野大学社会連携センター

交通

JR(中央線・総武線)・地下鉄東西線・京王井の頭線	西武新宿線	西武池袋線
吉祥寺駅下車 北口バス① 向台町5丁目、 桜堤団地行、 約15分 「武蔵野大学」下車	三鷹駅下車 北口バス④ 武蔵野大学行、 武蔵境駅行、約10分 「武蔵野大学」下車	武蔵境駅下車 北口バス⑤ 三鷹駅行、 武蔵野営業所行、 約7分 「武蔵野大学」下車
	田無駅下車 北口バス⑤ 武蔵境駅行 約5分 「至誠学舎東京前」 下車、徒歩5分	ひばりヶ丘駅下車 南口バス① 武蔵境駅行 約20分 「至誠学舎東京前」 下車、徒歩5分



武蔵野大学
MUSASHINO UNIVERSITY

— Linking Thinking —

お問い合わせ TEL 042-468-3222

FAX 042-468-3211

開室日: 月～金曜日 9:30～18:00
土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)

武蔵野大学 社会連携センター

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

講演内容 Curriculum

第1部 講演の部

13:00～14:30

【基調講演】

青年・成人期に於ける発達障害の理解と支援

—小児期～成人期に至るまでの成長過程と就労支援—

明神下診療所(神経科) / 臨床心理士 **糸井 岳史**

発達障害のある子どもたちは、発達特性上の制約によって、成長の質的な飛躍が求められる課題に於いて躓きを生じることが少なくありません。学校教育から社会への移行が求められる就労も、その大きな課題の一つであると考えられます。

このシンポジウムでは、就労とその維持に見られる困難さを、青年・成人期という横断的な状態像の中だけで考えるのではなく、小児期からの成長過程の中に位置づけてみたいと思います。その上で支援のあり方についても考えてみたいと思います。

第2部 分科会

15:00～16:30

【A班】

発達障害児への就労支援

—社会的自立、就労に向けての課題—

帝京平成大学教授 / 臨床心理士 **三宅 篤子**

近年、就労時や成人期に初めて医療機関や相談機関を訪れた際、発達障害の診断を受ける方が増えています。発達障害児者が就労時期に抱える問題として、就労以前の課題がクリアされていないこと、それ以前に存在した生活上の困難が就労をきっかけに前面に出ることなどが指摘されています。社会的自立や就労を成功させるためには、これらに必要なスキルの獲得とともに、それ以前に存在した生活上の困難について十分明らかにすることが重要です。

発達障害児者にとっては、その独特な認知様式に合わせたコミュニケーション方法を学び、自己認知と結びつけた障害認識が必要です。また、様々な社会的困難に出会った際に適切な感情や自己のコントロール方法を学ぶことも不可欠です。本講義では、具体的な事例に沿ってこれらの方法を学び、発達障害児者が自分の長所や個性を生かしながら社会の中で能力を発揮していくための方法について一緒に考えたいと思います。

第2部 分科会

15:00～16:30

【B班】

発達障害のある方の就労

～ジョブマッチングの必要性～

テスコ・プレミアムサーチ株式会社 代表取締役 **石井 京子**

発達障害のある方の就労相談件数は急激に増加しています。求職者、相談者の多くは社会人として初めての職業選択でミスマッチを経験しているのが特徴です。発達障害のある人が安定して長期に就労するためには、自分の特性に適した職業選択が何よりも必要です。

企業と求職者の両方を知る立場から、職種、就業環境等を考慮したうえでの最適なマッチングを行い、発達障害のある人へ障害者採用での就職の機会を提供しています。就業サポート事例からジョブマッチングの必要性について発表させていただきます。

